

梅雨時期に備えて防災対策を！

例年5月末～6月初旬にかけて日本列島は梅雨入りします。昨年中国地方は、5月21日に梅雨入りしました。梅雨時期は雨が継続的に降り、大雨による災害が発生します。水害や土砂災害の防災意識を再確認しておきましょう。

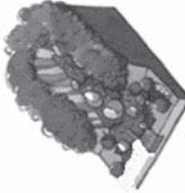
1 時間の雨量と降り方

1 時間の雨量	予報用語	降り方
10～20ミリ	やや強い雨	ザーザーと降る感じで、地面に水たまりができる
20～30ミリ	強い雨	どしゃ降り、傘をさしても濡れてしまう
30～50ミリ	激しい雨	バケツをひっくり返したような雨で道路が川のようになる
50～80ミリ	非常に激しい雨	滝のような雨、土砂崩れが起こりやすい
80ミリ以上	猛烈な雨	息苦しいような圧迫感があり、恐怖を感じる

土砂災害の種類と前兆

● 土石流

- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ・川の水がにごり流木がまざる



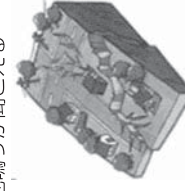
● かけ崩れ

- ・がけから出る水がにごる
- ・がけに亀裂が入る
- ・小石が落ちてくる



● 地すべり

- ・斜面にひび割れができる
- ・斜面から水が吹き出る
- ・地鳴りが聞こえる



大雨と土砂災害に備えて



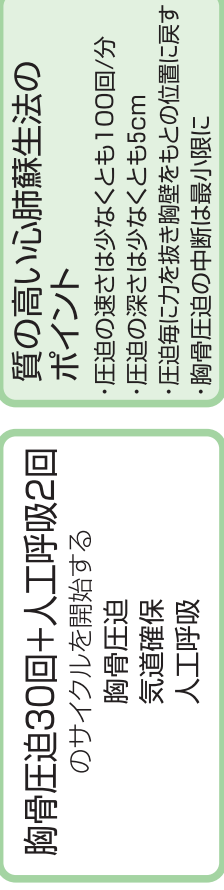
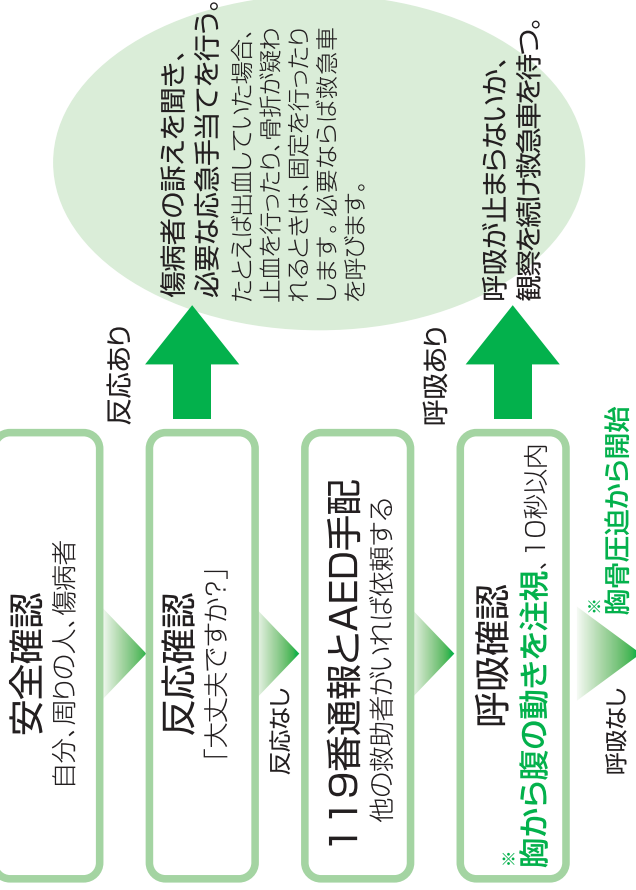
- あらかじめ安全な避難場所と避難経路を把握しましょう。
- 非常持出袋を常に用意し避難にあたっての携行品は必要最低限にとどめましょう。(貴重品、懐中電灯、食糧、水、衣料、ラジオ、医薬品等)
- 大災害が発生すると、消防や警察が十分な対応ができない可能性があります。地域で自主防災組織をつくり、「自分たちの町は自分たちで守る」地域づくりをしましょう。

避難時の注意事項

- 土砂崩れや、洪水により家屋が浸水及び流出する恐れがある地区に居住している人は早めに避難しましょう。
- かけ崩れのおそれのある斜面、土石流発生のおそれがある溪流の通過は避けましょう。
- 夜間や激しい降雨時、道路冠水時など、避難経路上の危険箇所の把握が困難な場合、屋外での移動は極力避けましょう。やむを得ず移動する場合は、照明器具等を使用して避難経路を照らし、長い棒を使い足元を確認しながら安全を図りましょう。
- 雨があがつたあとでも災害が起こる可能性がありますので、注意は怠らないようにしましょう。



応急手当での手順が変わりました!!



※印の緑の太文字部分が変わりました。